

2013新規開講科目

# 現代環境法入門

～裁判事例を通して環境法制のあり方を考える～

第二東京弁護士会・環境法研究会

中 下 裕 子

# 研究会の概要

## ■ 第二東京弁護士会・環境法研究会

- 第二東京弁護士会の研究会のひとつ
- 代表幹事 中下裕子
- 会 員 弁護士を中心に、企業人、市民等59名
- 活動内容  
化学物質や放射能汚染、農薬、廃棄物等に係る法規制や政策、環境問題に関する市民参加、国際環境法規制の動向等の調査研究。  
環境訴訟の判例研究や紛争解決事例の収集などを中心とした研究活動。  
年に数回、法学者や行政関係者、研究者、NGO／NPO関係者など多彩な講師を招いて公開学習会を開催。 等

# 2013年度 開講概要

## 現代環境法入門

～裁判事例を通して環境法制のあり方を考える～

環境問題は、今世紀のできるだけ早期に人類が解決しなければならない最重要課題のひとつです。

その解決にあたっては、環境法制度が重要な役割を演じることは言うまでもありません。

現代社会における環境法制度は、水俣病事件などの公害・環境裁判を通じて生成し、発展してきました。

本科目では、国際環境法の生成と発展、環境法の基本理念を学ぶとともに、さまざまな環境問題に関する個別法制度及び関連裁判例を紹介します。

# 2013年度 講義概要

環境法の基本理念

環境問題における市民の権利

汚染排出の  
防止・削減

有害化学  
物質管理

公共事業と  
環境保全

文化環境  
保全

自然環境  
保全

原子力・  
エネルギー

循環管理法

環境影響  
評価

# 2013年度 講義概要

## 環境法の基本理念

### 1. 環境法の生成と基本原則

講師:中下 裕子

## 汚染排出の防止・削減

### 2. 「築地市場移転問題にみる土壌汚染」

講師:大城 聡

### 3. 工場から自動車へ移る大気汚染

講師:橘高真佐美

### 4. 騒音・振動をめぐる判例の最新動向

講師:栗谷しのぶ

# 2013年度 講義概要

## 有害化学物質管理

5. 化学物質管理とシックハウス問題      講師: 中下 裕子

## 公共事業と環境保全

6. 道路公害をめぐる判例の動向      講師: 藤原 周作  
7. ダムと堤防      講師: 福田 健治

# 2013年度 講義概要

## 文化環境保全

- 8. まちづくり訴訟①—建造物文化財の保存を題材として
- 9. まちづくり訴訟②—景観保護を題材として

講師:尾谷 恒治

## 汚染排出の防止・削減

- 10. 自然保護をめぐる判例と法制度
- 11. 福島第一原発事故
- 12. 再生可能エネルギーと気候変動対策

講師:橋澤 加世

講師:福田 健治

講師:島 昭宏

# 2013年度 講義概要

## 循環管理法

13. 廃棄物処理施設を巡る判例とあるべき法制度  
講師: 藤原 周作

## 環境影響評価

14. 環境影響評価法で裁判を闘えるか  
講師: 花澤 俊之

## 市民参加

15. 環境問題における市民参画：オーフス条約  
講師: 橘高真佐美



# 開講にあたって

- 環境法制度の基本理念、個別法の法制度と裁判事例の動向を通じて、さまざまな環境分野における課題への理解を深めていただければと期待しています。
- 日本における現行の環境法制度のあり方と裁判事例を紹介するとともに、海外の法規制や環境理念と比較することによって、その現状と課題を認識し、受講生とともに、さまざまな環境問題の解決のために有効な法制度のあり方を考えていきたいと考えています。